

第六十五回帝國議會
衆議院

健康保險法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和九年三月一日(木曜日)午後一時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 守屋 榮夫君

理事佐保 畢雄君 理事岡田喜久治君

川手 甫雄君 野方 次郎君

松尾 孝之君 益谷 秀次君

山田 佐一君 世耕 弘一君

山下 谷次君 久山 知之君

清水留三郎君 武知 勇記君

中山 福藏君 一松 定吉君

福田 虎龜君

二月二十二日委員磯部尙君辭任ニ付其ノ補闕トシテ川手甫雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ
三月一日委員八木逸郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中山福藏君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 大島辰次郎君

社會局部長 川西 實三君

社會局部長 富田愛次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

癩兵院法中改正法律案(政府提出)

○守屋委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ、久山君

○久山委員 社會局長官ハ御出席デアリマスカ

○守屋委員長 病氣デ今日ハ休ンデ居ラレルサウデスガ、若シ社會局長官デナケレバナラス御質問ガゴザイマスナラ、ドウセ其中ニ出テ來ラレルデセウカラ、其時ニ御質問ヲ願フデ、今、部長ガ見エテ居リマスカラドウゾ……

○久山委員 ソレデハ豫メ其點ヲ、若シ必要ガアリマシタラ他日ニ質問ヲ留保シテ戴キタイ

○守屋委員長 承知シマシタ

○久山委員 既ニ段々他ノ委員諸君カラ御質問ガアリマシテ、大體ニ於テ諒承シタ點

モアリマス、ソレト同時ニ尙ホ吾々ノ疑問ヲ感ズル點モアルノデアリマス、多少重複ノ點モアルカモ存ジマセヌガ、ソレハ豫メ政府當局竝ニ同僚諸君ノ御諒解ヲ願フデ置キタイノデアリマス、先日來清水委員ニ依リマシテ、此健康保險ノ醫師ト藥劑師ノ立場ニ對スル、各般ノ御質問ガアツタノデアリマス、私モ之ニ關聯シテ御伺シテ見タイノデアリマスガ、此健康保險ノ目的トカ、趣旨ニ對シマシテハ、固ヨリ吾々同感デアリマス、現在ノ社會情勢カラ致シマシテモ、其必要ハ痛感ヲ致シテ居リマス、併シ政府ノ御考ニナッテ居リマシヤウニ、此健康保險ナルモノガ、總テノ方面ニ多大ナル效果ヲ擧ゲテ居ルカドウカ、又一般カラ好感ヲ以テ迎ヘラレテ居ルカドウカト云フコトハ、私共多少疑ナキヲ得ナイノデアリマス、色研究調査ヲ致シマスルト、效果ヲ擧ゲテ居リマスル半面ニ於テ、往々非難ノ聲ガ起ッテ居ルノデアリマス、ドウ云フ點ガ非難サ

レテ居ルカト云フト、要スルニ前ニモ問題ニナリマシタ醫師ノ粗療、粗診ノ點デハナイカト思ヒマス、ソコデ當局ニ御同致シタイノデアリマスガ、健康保險ノ被保險者ニ對スル診療ノ問題ニ對シマシテ、日本醫師會ニ對スル請負制度ヲ如何ナル見地、如何ナル理由ニ依ッテ御始メニナッタノデアリマスカ、先ヅ其點カラ御意見ヲ拜聽致シタイト思ヒマス

○川西政府委員 健康保險ノ醫療ノ給付ヲスルニ付キマシテ、色々ナ方法ガ理窟上ハ考ヘラレルト思ヒマスガ、實際問題ト致シマシテハ、例ヘバ定額式デアリマストカ、或ハ其他ニ考ヘラレル方法ヨリモ、大體請負ノ制度ニ依ッテ一人當リ幾ラト云フ、相當研究サレタ結果ノ醫療ノ費用ガ推算サレマスコデ、ソレニ依ッテ全國的ニ會員ヲ多ク有ッテ、サウシテ統制ノ能ク取レテ居ル醫師會ヲ相手ニシテ、請負制度デアル方ガ、外ノ方法ヨリモ比較的宜ク行ク、一方保險經

付託議案

健康保險法中改正法律案(政府提出)
癩兵院法中改正法律案(政府提出)
衛生組合法案(中井一夫君外五名提出)
傳染病預防法中改正法律案(中井一夫君外五名提出)
衛生組合法案(野田文一郎君提出)
傳染病預防法中改正法律案(野田文一郎君提出)
衛生組合法案(福田關次郎君外二名提出)
傳染病預防法中改正法律案(福田關次郎君外二名提出)
民族優生保護法案(荒川五郎君外一名提出)

濟ノ見地カラ申シマシテモ、健全ニ目安ガ付イテ行キ得ルダラウト云フ風ナ理由カラ、請負制度ガ行ハレルコトニナクッタ思ヒマス

○久山委員 今ノ御答辯ニ依リマス、他ノ方法ヨリハ請負制度ノ方ガ、好ク行クト思ハレルト云フノデアリマス、尙ホ多數ノ統制ノアル日本醫師會ニ請負ハセルコトハ、便宜ガ多イダラウト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマス、其外ノ方法ニ依ルヨリ、好ク行クト云フ點ニ對シマシテ、ドウ云フ御考ヲ御有チニナッテ居リマスカ、ソレヲ先ヅ承リタイ

○川西政府委員 言葉ガ簡單デゴザイマシタガ、例ヘバ請負制度ニ對シテ考ヘラレマス外ノ一ツノ方法トシテハ、全然斯ウ云フ大キナ團體ヲ相手ニ請負ハセズシテ、個人ノ醫師ト必要ノ生シタ場合ニ契約ヲシテ、療養ノ給付ヲスルト云フヤウナコトモ、考ヘ得ラレルデアラウト思ヒマス、斯ウ云フ風ニナリマス、保險ト申シマスモノハ御承知ノ通りニ、大勢ノ人達ヲ被保險者トシ、全國ニ跨ッテ居ル多數ノ醫師ヲ、其診療ノ機關トシテ、其間ニ統制ナク、又監督困難ナ狀態ニ於テヤルト云フ風ナコトニナリマス、ドウシテモ運用ガ十分ニ行カズ、

ソコデ按ズレバ濫診、濫療ノ問題モ起リマセウシ、又經費ノ上ニ於テモ色々不便ナ點モアリマセウト云フ風ニモ思ハレマス、不十分カモ知レマセウガ、御答致シマス

○久山委員 只今ノ御答辯ニ依リマス、ドウモ多クハ社會局ノ便宜ニ依ッテ、請負制度ヲ御定メニナッタノデヤナイカと思ハレル、御承知ノ通り從來ニ於キマシテモ、何十萬ト云フ多數ノ被保險者ガアッタノデアリマスガ、今回ノ擴張ニ依リマス、更ニ其數ハ倍加致スノデ、唯、當局ノ取締上ノ立場、或ハ監督上ノ立場ノミヲ御考ニナリマシテ、被保險者ニ對スル便宜トカ、或ハ利益トカ云フコトヲ、御考慮ニナラナイヤウナ風ニモ取レルノデアリマスガ、其邊ハドウ云フ御考ヲ御有チニナッテ居リマスカ、承ッテ見タイノデアリマス

○川西政府委員 ソレハ決シテ御尋ノヤウナ、此方本位ノ考ダケカラ出タコトデハナイノデアリマス、先程申落シマシタガ、請負制度ニ對シマシテ、外國ノ例ナンカヲ見マシテモ、例ヘバ專屬ノ保險醫ヲ置クト云フヤウナコトモ、マア一ツ考ヘラル、コトデアリマセウガ、現在ノ請負制度ト致シマシテノ一ツノ特徴ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、醫療ノ費用ガ大體確實ニ見積リ得ル

ト云フコト、詰リ此保險ヲヤッテ行キマス上ニ、一番大切ナコトハ、一定料額ノ保險料ニ依ッテ、或ル目安ヲ付ケテ、ソレガ安全ニ確實ニ行ハレルト云フコト、ソレガ安全確實性ヲ缺キマス、結局ソレハ被保險者竝ニ事業主ノ頭ニ掛ル性質ノモノデアリマシテ、私共此保險ノ仕事ハ、要スルニ其大部分ノ費用ガ、事業主ト被保險者ノ懷中カラ出タ所ノ費用ト、政府ガ事務費等ヲ國庫トシテ負擔シテ、サウシテソレヲ出來ルダケ有效、適切、確實ニ運用シテ行クト云フ責任ヲ感ジマスノデ、此運用方法ガ圓滑ニ行カナイコトニナリマス、結局保險經濟ノ基礎ガ脅カサレ、ソレガ被保險者竝ニ事業主ニ掛ッテ行ク、斯ウ云フコトニナル處ガアル、此事務ニ付テ私共ノ方カラ便宜ト申シマスレバ、ソレハ如何ニモ私共ダケノ考ノヤウニ見エマセウガ、事務ハ確實ニ行ク、經費ハ安定シテ行クト云フヤウナコト、被保險者竝ニ事業主ノコトモ考ヘテ行カナケレバナラヌ、又請負制度ト申シマスルト、是ハ所謂團體自由選擇主義ト云フ言葉デ現ハサレテ居リマスガ、全國三萬一千有餘ノ保險醫ヲ、日本醫師會統率ノ下ニ於ケル診療機關ト致シマシテ、各被保險者ガ各々ノ欲スル醫者ヲ自由ニ選ンデ掛カリ得ルト云

フ風ナ制度ニナッテ居ル、先程申上ゲマシタ、或ル限ラレタル醫者ヲ直接直屬トシテ有ッテ居ル制度ナンカト較ベテハ、或ハ一ツノ特徴デナカラウカ、斯ウ云フ感ジガ致スノデアリマス、要スルニ請負制度ハ必シモ御言葉ノヤウニ、私共ダケノ事務上ノ便宜カラ考付イタ制度デハナイノデアリマス、御諒承願ヒマス

○久山委員 此請負制度ニ對シマシテ、相當御話ノヤウナ政府竝ニ事業主、被保險者ニ對スル便宜ヲ得タ點モアルデアリマセウ、併シ其半面ニ於キマシテ、既ニ先日ドナカラ御話ニナリマシタヤウナ弊害ガ、屢、現ハレテ參ッテ居ルノデアリマス、私ハ請負制度其モノ、缺陷ト申シマスヨリハ、寧ロ實際ノ診療ニ當ッテ居ル多數ノ醫師ノ中ニ、偶、左様ナ不徳義ナ人ノアルコトヲ、非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、私ノ手許ニ集ッテ居リマスル各種ノ材料ニ依ッテ之ヲ見マシテモ、相當各方面ニ於キマシテ、此健康保險醫ガ、現行法ノ裏ヲ潜ルト申シマスカ、或ハ之ヲ惡用致スト申シマスカ、相當ナ破廉恥行爲ヲヤッテ居ルヤウニ承ッテ居リマス、私ハ一々ノ例ヲ茲デ申述ベルコトハ、暫時差控ヘタイト思ヒマスルガ、斯ウ云フ風デハ被保險者ガ頗ル氣ノ毒デアル、又事業主

ニ對シマシテモ、非常ナ迷惑ナ話デヤナイ
カト思フノデアリマス、例ヘテ申シマス、
簡單ニ癩病氣ヲ、故ラニ日ヲ長引カセル、
或ハ患者ト醫師ガ狎合ッテ治療モシナイノ
ニ、治療シタヤウナ報告ヲシテ、當局ヲ胡麻
化ス、サウ云フ事件ガ頻々トシテ起ッテ參ッ
テ居ルノデアリマス、私ハ日本醫師會所屬
ノ醫師諸君全部ガ、左様ナ不徳義ノ人デア
ルトハ決シテ考ヘテ居ナイノデアリマス、
吾々醫師ノ天職ニ對シマシテハ、何處迄モ
敬意ヲ拂ッテ居リマスルガ、多數ノ中ニハ
偶、左様ナ不都合ヲ働ク人ガアルト云フコ
トニ對シマシテハ、是ハ單ニ醫師其人ダケ
ノ責任デヤナクシテ、政府ノ大ナル責任デ
ヤナイカト思ッテ居リマス、ソコデ御同致シ
タイノハ、醫師ニ對スル監督ノ方法デアリ
マスルガ、全國各地ニ監督者ノ在ラレコ
トハ、私モ承ッテ居リマス、併シ如何ナル方
法ニ依リ、如何ナル監督ガ行ハレテ居リマ
スカ、其點ヲ御同致シタイノデアリマス

事柄ノヤウニ考ヘテ居リマス、ト申シマス
ノハ、唯中央ニ居ッテ、サウ云フコトヲ想像
シテ居ルト云フノデアリマセヌデシテ、
恰度御質問ニアリマシタ通り、全國各府縣
ニ保險課ガアリ、其保險課ニハ相當十分ナ
視察員等モ置イテアリマシテ、醫師會自體
ノ監督ト相俟ッテ時ニハ共同シ、時ニハ各々
ノ立場カラ被保險者ニ出來ルダケ不都合ノ
ナイヨウニスルト云フコトハ、殆ド念頭ヲ
離シタコトナクヤッテ居ル積リデ居リマス、
具體的ニ最近ノ例ヲ申上ゲマス、例ヘバ
最近全國各府縣ニ對シマシテ、日頃ノ觀察
カラシマシテ、ドウカナト思ハレルヤウナ
業態、或ハモウ一ツ言ヘバ、醫者トカ地方
トカ云フモノヲ選ビマシテ、相當ニ日數ヲ
掛ケテ、十分ニ實地調査ヲ致シテ居リマス、
其結果ハマダ此處デ申上ゲルコトガ出來ル
程度ニハ、纏ッテ居リマセヌケレドモ、中ニ
ハ矢張注意ヲ與ヘ、人ニ依ッテハ除名處分ヲ
スル、斯ウ云フヤウナコトヲシナケレバナ
ラス人ガ、甚ダ遺憾ナガラ見付ッタヤウナ次
第デアリマスガ、平素ニ於ケル事務ヲ執リ
ツ、アル時ニ、先程御指摘ノヤウナ、或ハ
患者ト御互ニ通ジ合ッテ、診療ノ期間等ヲ胡
麻化ストカ、又自分カラ長クスルトカ、或
ハ場合ニ依ッタラ、不景氣ノ場合ニハ事業主

ト結託スルト云フヤウナコトヲ聽ク場合モ
アリマスガ、サウ云フヤウナ點ニ對シテ平
素ノ事務ヲ扱フ場合ニハ、始終注意ヲ致シ
テ居リマス外ニ、只今一例ヲ舉ゲテ申上ゲ
マシタヤウナ方法ニ依リマシテ、時ニハ除
名處分ノ制裁モ加ヘルト云フヤウナコトヲ
致シテ、監督ヲ致シテ居リマス、今回行ヒ
マシタ其調査ノ如キハ、全體ノ氣風ヲ引締
メテ、今後ノ診療内容ノ向上トカ、眞面目
ニヤルト云フ上ニ於テ、非常ナ效果ヲ齎シ
タノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ思ッテ居
リマス

ハ、此健康保險ノ診療ヲ、非常ニ大切ニ扱ッ
テ居ラレル、大切ニト申シマスヨリハ、寧
ろ之ヲ利用シテ居ル傾向モアルノデアリマ
ス、私ハ其何レノ方面ニ於キマシテモ、非
常ニ重大ナル問題ガアルノデハナカラウカ
ト思フ、ソコデ不正行為ノ御取締以外ニ、
此診療ニ對シテ果シテ政府ノ御方針ノヤウ
ニ監督ガ、行ハレテ居ルカドウカ、前ニモ
既ニ御質問ガアッタヤウニ思ヒマスルガ、同
ジ藥品ヲ使フニ致シマシテモ、獨逸カラ輸
入サレル高價ナ藥品モアリ、或ハ日本デ作
ラレテ居ル藥品ノ中ニモ、非常ニ優秀ナル
モノモアレバ、或ハ又漸ク藥局ヲ通ッタト云
フヤウナ、粗惡ナ藥品モアルノデアリマス、
此請負契約ト云フ方法ガ、非常ニ便宜ヲ得
ル場合モアリマスルガ、ソレト同時ニ藥品
ヲ扱フ場合ニ當ッテハ、非常ナ又缺陷ガ其處
ニ生レテ來テ居ルノデアリマス、所謂保印
ノ藥品ト云フノハ、此邊カラ生レテ來タノ
デハナイカト思フ、サウ云フ方面ニ對スル
監督ヲ、政府ハ果シテオヤリニナッテ居ルカ
ドウカ、其處マデ監督ノ手ガ及ンデ居ルカ、
ドウカト云フコトヲ重ネテ御同ヒ致シタイ
ト思ヒマス

○川西政府委員 先程モ申上ゲテ居リマス
ルヤウニ、醫師ノ數モ多ウゴザイマスシ、

又被保險者ノ數モ多ウゴザイマスカラ、全部ヲ細カク診療ノ内容ヲ監督検査スルト云フ風ナコトハ、實際ニ困難ナコトデアリマスノデ、其處迄ハ行ッテ居リマセヌケレドモ、診療ノ問題ニ付キマシテ、比較的監督ヲ必要トスル、例ヘバ呼吸器、結核ニ關スルモノ、ソレカラ微毒、脚氣「トラホーム」斯ウ云フ風ナ病氣ニ付キマシテ、最近昭和八年、即チ去年ノ九月以降十二月マデノ間ニ、全國ノ各府縣ノ保險課ニ於キマシテ、特ニ醫術ニ付テノ心得ノアル技師トカ、有給囑託ト云フ者ヲ置イテゴザイマスノガ、北海道其他十三府縣アルノデアリマス、其他ノ府縣ニハ遺憾ナガラ、サウ云フ専門ノ人ヲ置イテナイノデアリマスガ、其十三府縣ニ於テ只今舉ゲマシタヤウナ調ヲサセタ譯デアリマス、是ハ内容ガ色々細カウゴザイマスノデ、中ニハ纏ラスモノモアリマスノデ、マダソレヲ細カク御報告スルコトガ出來マセヌ、只今マデ纏ッテ居リマスノニ依リマス、神奈川縣外三縣デゴザイマスガ、結核ニ付キマシテ八十七名ノ保險醫ニ付テ二百三十一例、微毒ニ付テハ九十九名ノ保險醫ニ付テ二百七十六例、脚氣ニ付キマシテハ九十九名ノ保險醫ニ付テ三百七ノ例「トラホーム」ニ付キマシテハ、九十一名ノ

保險醫ニ付テ四百七十二ノ例、合計四ツノ病氣ニ付キマシテ三百七十六名ノ保險醫ニ付テ、一千二百八十六ノ例ニ付テ調査ヲ致シタ大體ノ模様ハアリマス、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、出來ルダケ診療ノ内容ノ調査ニ付キマシテモ念入リニヤリマシテ、色々弊害ノ無イヤウニ、詰リ弊害ト申シマスノハ、被保險者ニ對シテ不親切ナル場合、又濫診濫療モアリマス、斯ウ云フ風ナ意味ニ於テ調査ヲ致シマシタ、其模様モ分ッテ居リマスガ、餘リ諄クナリマスカラ、若シ御必要ガアレバ申上ゲマスガ、大體ソナ風ナ事ダケ申上ゲテ置キマス

○久山委員 御苦心ノ點ハ能ク承リマシタガ、ドウモ只今御話ノヤウニ全國ニ三萬一千以上ノ醫師ガアル、之ヲ監督ナサルコトハ困難ナ仕事デヤナイカ、ソレト同時ニ監督ヲ必要トスルヤウナ、非常ナ缺陷ガ其處ニ在ルト云フコトモ私共之ヲ證明セザルヲ得ナイ、斯ク考ヘテ參リマスルト、現行健康保險ト云フモノハ、社會局ノ關係者諸君ガ御考ニナッテ居ル程、私ハ完全無缺ナモノデハナイト思フ、若シ果シテ完全無缺デナイト致シマス、擴張ヲヤル以前健康法ニ依ッテ、現在ノ狀態ニ於テモウ少シ内容ヲ改善スル必要ガアリハセヌカ、愈、是デ大丈夫、

是デ差支ナイト云フ目安ガ立ッテ、初メテ擴張スルノガ私ハ當然ナ行方デハナイカト思フ、擴張スルコト必ズシモ反對デハアリマセヌガ、ドウモ内容ノ不安定、而モ被保險者ガ常ニ不安ヲ感ジテ居ルヤウナ、今日ノ狀態ヲ以テ致シマシテ、其儘デ之ヲ擴張スルト云フコトハ、其處ニ一層弊害ヲ助長スル結果ヲ招來シハシナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、是以上申上ゲルト意見ニ涉リマスカラ、私意見ハ差控ヘタイト存ジマスガ、此請負制度ヲ私共ガ見マシテ、最モ缺陷デハナイカト思フ點ハ、診療ニ對スル一人當リノ日數デアリマス、何デモ一人當リ三十日位ナ計算ニナッテ居ルヤウニ拜聽致シテ居リマスガ、三十日ト云フ數字ハ、如何ナル基礎ニ依ッテ御算出ニナッタノデアリマスカ、其點ヲ伺ッテ見タイノデアリマス

○川西政府委員 私共モ決シテ現在ノ健康保險法、及び其ヤリ方ガ完全無缺ダト云フ風ナ考ハ、未ダ會テ一度モ有ッタコトハゴザイマセヌ、出來ルダケ内容ヲ充實シ、改善シテ行キタイト云フ風ナコトハ、今回ノ改正案ノ有無ニ拘ラズ、始終部内デ論議研究致シテ居リマスヤウナ譯デ、此點ハドウゾ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯内容改善ヲセズシテ擴張スルノハドウカ、是ハ改メテノ御質問デハゴザイマセヌデシタカ知リマセヌガ、御質問ノヤウニモ取レマスノデ、一言ダケ申上ゲサシテ戴キタイト思ヒマス、私共ハ今日ノ請負制度、或ハ今日ノ諸規則ニ基キヤリ方、ソレヲ何時迄モ完全無缺トシテ、拘泥シテ居ルト云フ風ナ態度ヲ執ッテ居ル譯デハアリマセヌ、色々御指摘ニナリマシタヤウナ不平ハ聞エマスガ、或ハ又意見モ色々交サレマスケレドモ、マダドウモ今日ノ請負制度ヲ、ドウ變ヘルト云フ風ナコト迄、ソレ以上ノ良イ考ガ付キマセヌノデ、現在ノ狀態デ居ル譯デアリマス、併シ其中ニモ改ムベキモノハ改メテ、段々トヤッテ參リマスシ、又今後モサウ云フ風ナ努力ハシタイ、サウシテ其努力ヲ續ケテ行クコト、今回ノ擴張ト併セテ行ッテ、決シテ不都合ハナイト思ヒマスノデ、サウ云フ案ヲ以テ御諮リヲシテ居ル譯デアリマス、ドノ保險ニ致シマシテモ、是ハ強ヒテ私辯解ガマシク申ス譯デハゴザイマセヌガ、保險ト申シマスモノハ大勢ノ人ヲ相手ニシ、澤山ノ複雑ナ機關ガ寄集ッテヤル譯デアリマスカラ、一ツモ弊害ノナイヤウニヤルト云フコトハ、失業保險ニシマシテモ、疾病保險其他ニシマシテモ、實ニムツカシイコト

ダト思フ、ソレデ健康保險ニ付キマシテ、恐ラク如何様ナ研究ヲ積ミマシテモ、完全無缺ト云フ風ニハ中々行クマイ、併シ只今迄ノ所デハ、醫療ニ於テ不都合ガ生ズレバ取締モ致シマスシ、又先程モ申シ上デマシタヤウナ診療内容ノ調査等モシテ、先ヅ先ヅヤッデ、而モ此努力ヲ尙ホ續ケテ行ク、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、擴張ノ案ヲ後廻シニシテ、内容改善ヲ先ニシナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ診療日數ノ計算デゴザイマスガ、是ハ具體的ニ申上ゲマス、各健康保險課ヨリノ年報ニ依リマシテ、算出致シタモノデアリマシテ、被保險者ノ總數デ、療養給付ノ日數ヲ割リマシタモノデアリマス、是ガ一人當リ三十日、斯ウ云フコトニナッテ居ル譯デアリマス

○久山委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、現在ノ健康保險法ノ内容ニ、非常ナ缺陷ガアルト云フコトモ、當局ニ於テ御承知ニナッテ居ラレルヤウデ、私寧ろ本法案ノ爲ニ應ゾ者デアリマス、重ネテ申上ゲルヤウデアリマスルガ、缺陷ノアルモノヲ其儘放任シテ置クト云フコトハ、私ハ決シテ本法案ノ爲メデハナイト思フ、是ハ何トカ根本的ニ御考ヲ御回ラシニナリマシテ、若シ缺陷

ガアルトスレバ、此點ヲ十分改善シテ御ヤリニナル必要ガアラウト思ヒマス、尙ホ御答辯ニ依リマスルト、三十日ノ基礎ノ算定ノ方法ガハッキリ致シマシタガ、他ノ大キイ有名ナ病院邊リノ統計ヲ見マス、多クハ二十日間前後ノ數字ガ出デ居ルヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、健康保險ニ限ッテ三十日ト云フ數字ガ出ルコトハ、私ハ茲ニ診療上重大ナル問題ガアルノデハナイカ、御承知ノ通り五十萬、六十萬、七十萬ノ被保險者ガ一日ノ仕事ヲ休ムト云フコトハ、其人個人ニ取ッテハ一日デアリマスルガ、是ハ國家ノ産業ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボス、經濟上ニモ重大ナル影響ノアル點デアリマス、ソレガ十日間モ喰違フト云フコトハ、私ハ重大ナ問題デハナイカト思フ、而モ請負制度ト致シマシテ、三十日ヲ基礎ニシテ金ヲ御拂ヒニナル、或ハ二十日間ヲ基礎ニシテ、御拂ヒニナルト云フ此數字上ノ問題ヲ比較致シマスルト、ソコニ何十萬、或ハ何百萬ノ差異ガ生ジテ來ル、此處ヲニ私ハ請負制度上ノ非常ナ缺陷ガアルコトヲ痛感致スノデアリマス、此點ヲ御改善ニナル御意思ガアルカナイカ、此點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○川西政府委員 三十日ト申上ゲマシタ此

日ハ、御誤解ナステ居ラレル譯デハナイト思ヒマスケレドモ、是ハ所謂休養日數デハナイ、ドンナ輕イ病氣デモ、醫者ニ診テ貰ッタト云フ日數ガ三十日ト出デ居ルノデアリマス、ソレヲ御承知願ヒタイ、ソレデ病院ノ方ガ大體二十日ダ、ドウ云フヤウナ割出シ方カ、其方面ヲ心得マセヌノデ、或ハ一件當リ二十日ト云フ風ナ日數デハナカラウカト云フ風ニ、想像サレルノデアリマス、此點ハ姑ク別ノ問題ト致シマシテモ、醫者ニ診テ貰フ日數ガ比較的多いト云フコトガ請負制度ダカラ多イ、斯ウ云フ風ニ私共ニハドウモ考ヘラレナイノデアリマス、ソレニ付テ思浮ビマスコトハ、或國ナドニ於テハ、病氣ノ診療ヲ受ケルノニ付テ、患者ニ輕イ一部ノ費用ノ負擔ヲサセテ居ル國ガアル、サウ云フ國ノ例、又日本ニ於キマシテモ或ル共濟組合ナドハ——健康保險ノ方デハナイガ、或ル共濟組合ノ例ナドニ依リマス、診療ニ要スル費用ノ僅カナ部分ヲ、共濟組合員ニ負擔ヲサセテ居ル、斯ウ云フ例、ソレ等ト比ベテ見マスルト、其制度ヲ採ッテ居ル國ノ被保險者ノ診療ヲ受ケル日數——是ハ別ニ大キナ統計ヲ取デ居ル譯デハ無ササウデアリマスケレドモ、其日數、或ハ日本ニ於ケル或ル共濟組合ノ例ナドニ比ベ

ルト、ドウシテモ健康保險ノ方ニ於ケル受療日數ガ多イヤウデアリマス、此理由ハ察スル所、現在ノ健康保險ノ建前ノ如ク、病氣デアレバ如何ナル輕イ病氣デモ、直チニ思フ儘ニ診療ヲ受ケルコトガ出來ル、斯ウ云フ制度デアリマス、被保險者ハ容易ニ醫者ノ所ニ來ル、所ガ一部デモ負擔サセルト云フ制度デアリマス、少々ノ風邪位デハアマアト云フヤウナコトデ、直チニ醫者ニ駆付ケルト云フコトガ、比較的少イノデハナカラウカ、サウ云フ人情ト申シマスカ、人ノ心持ニ原因シテ、診療日數ノ上ニ開キガアルノデハナカラウカ、御舉ゲニナリマシタ病院ガ、ドンナ性質ノ病院カ存ジマセヌガ、私共自身ノ經驗カラ申シテモ、費用ガ特ニ掛カル場合ハ、出來ルダケ控目ニスルシ、費用ガ只ナラバト云フ風ニナリ易イコトヲ考ヘマス、此想像モ必ズシモ當ラヌモノデハナカラウカト、斯ウ思ッテ居リマス

○久山委員 只今ノ御話ニ依リマシテ、大體諒解致シマシタガ、輕イ病氣デモ直グ醫者ニ掛カルト云フコトハ、國民ノ保健上非常ニ結構ノコトデアリマシテ、私ハ寧ろ斯クアリタイト考ヘルノデアリマス、併シ其輕イ病氣デモ、重イ病氣ノヤウニ取扱フ醫者ガアルト云フコトハ、曩ニモ既ニ御答辯ニ

依ッテ、當局モ御承知ノコト、考ヘマスガ、重ネテ申上ゲテ甚ダ失禮デアリマスルガ、此點ガ重大ナ問題デアリマス、醫師ト患者ノ狎合ガ生レルノモ其處デハナイカト思ヒマス、又不正ナル醫師ガ患者ヲ利用シテ、不正ナル利得ヲ得ルト云フ方法ニ出ヅルコトモ、其處デハナイカト思ヒマス、ソコデ私ハ今二三伺ヒタイノデアリマスガ、元來私ハ醫師デハアリマセヌ、又藥劑師デモナイ、何等ソレ等ニ關係ハナイ者デアリマシテ、斯ウシタ社會立法ラスル場合ニ於キマシテ、此法律ヲ制定シタ爲ニ、非常ナ經濟上ノ打撃ヲ受ケル一部ノ人ガアルトシマスレバ、其點ヲ社會局トシテ御考慮ニナル必要ハアルマイカト思フ、他ノ例ヘバ衛生局ニ於キマシテ、斯ウシタ案ヲ御立テニナル場合ト違ヒマシテ、社會局トシテハ所謂社會事業ノ見地ニ於キマシテ、一方ニ於テ非常ナ利益ヲ得ル人ガアルト同時ニ、一方ニ於テ其被害ヲ感ズル人ガアルトシマスレバ、其點ヲ御考慮ニナル必要ガアリハシマイカト思フ、少シ廻リ諄ク申上ゲテ御分リ難イカモ存ジマセヌガ、率直ニ申上ゲマスルト、此健康保險法ノ制定ニ依リマシテ、醫師ト藥劑師ガ果シテ平等ノ取扱ヲ受ケルカドウカ、私共此點ヲ考ヘテ見マスルト、醫師ハ

日本醫師會ノ背景ニ依リマシテ、團結、統制ニ依リマシテ、斯ウシタ事業ガ起レバ起ルダケ、其處ニ經濟上個人的ノ利益ガ生レテ參ルノデアリマス、之ニ反シマシテ藥劑師ノ方ハドウデアアルカト云フト、一向此立法ノ内容ニ立至ッテノ發言權ヲ有タナイヤウナ狀態ニ陥ッテ居ル、何デモ昭和六年デアリマシタカ、藥劑師會ノ方デ、此健康保險ノ藥劑師タルコトヲ御免蒙ルト言ッテ一時脫退シタ、其脫退シタ理由ヲ調べテ見マスルト、處方箋ノ發行ノ件數ガ非常ニ少イ、一年ニ千圓前後シカ、處方箋ニ依ッテ調劑スル金額ガ上ラナイト云フヤウナ狀態デアル、私ハソレガ悉ク醫師ノ處方箋ヲ發行スルコトヲ拒ンダ結果ダトハ申上ゲマセヌガ、少クモ其邊ニ原因ガ胚胎シテ居ルノデハナイカト、疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、斯ク考ヘテ來マスルト、此社會局デオヤリニナッテ居リマスル健康保險法ニ依ッテ、藥劑師ガ非常ナ打撃ヲ受ケテ居ル、此事實ヲ何ト御考ニナッテ居ルカ、又果シテ如何ナル對策ニ依ッテ、此問題ヲ緩和スルノ御意思ガオアリニナルノデアアルカ、此點ヲ御伺ヒ申上ゲタイト思ヒマス

○武知委員 關聯致シマシテ——只今久山君カラ醫師ガ處方箋ヲ拒ンダト云フコトニ付テ御話ガアリマシタガ、先日八木委員ノ質問ニ對シマシテ、丹羽社會局長官ハ斯ウ答ヘテ居ル「私ハ今日マデ具體的ニ被保險者ガ處方箋ノ交付ヲ要求シタノニ、之ヲ拒ムト云フ事柄ヲ別段聞イテハ居リマセヌ」斯様ニ答ヘマシタ、所ガ八木君ハ「ソレデハ左様ナコトガナカッタシテ、又藥劑師側ノ諸君モ是ハ事實ニ於テ御了解下サレタコトトシテ、私ハ喜ブ次第デアリマス」ト完全ニナカッタ云フヤウニ言ッテ居ル、私共カラ見マスルト、醫師側ノ委員ト政府トガ狎合ウタ質問應答ヲシテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、今久山君ノ御話ニアリマシタヤウニ、拒ンダコトガナイドコロカ、一體昭和五年ニ脫退ヲ致シマシタノハ、餘リニ拒ムコトガ多クカカラデアリマス、藥劑師側デ出シマスル八千圓ノ金ト云フモノガ、二千圓位ニ減リマシタ、デ、政府委員ハ斯ウ云フコトノ御調モ付イテ居リマセヌカ知レマセヌガ、私ハ明ニ此處ニ事實ヲ申上ゲタイト思ヒマスルガ、當時大阪市浪速區惠美須町三丁目井上醫院、保險醫デアリマスガ、ソレガ同市住吉區山王町二ノ五七尾崎方ニ住ンデ居ル崔德元ト云フ者ガ、處方箋ヲ要求致シマタ所ガ、保險醫ノ言分ト致シマシテハ「心配ナシ、當院ノ藥ニテ全快セザル際ニハ希望

ニヨリ處方箋ヲ渡ス」斯ウ言ッテ居リマス、更ニ大阪市西成區東田町姫野醫院、是ガ被保險者デアリマス住吉區山王町二ノ五七李判守——朝鮮人デアリマスガ、之ニ對シテ處方箋ヲ拒否シテ居リマス、其拒否ノ理由ハ「診察ノ上藥ヲ渡ス故効果ノナキ時ハ處方箋ヲ書ク」更ニ又大阪市ノ西成區東田町辻村醫院ガ、是モ大阪ノ住吉區ニ住ンデ居リマス朝鮮人朴鐘凡ノ處方箋ヲ要求ヲ拒否シテ居ル、其理由ハ「當院ノ藥ヲノンダ上ニ效果ナキトキハ處方箋ヲ書ク」マダ同ジヤウナ事柄ガ澤山アル、是ハ申上ゲルト際限ガナイ、斯ウ云フ風ニ澤山本人ノ證明ヲ取りマシテ、私ノ手許ニアルダケデモ五六十ゴザイマス、斯ウ云フ風ニ處方箋ヲ要求致シマシテ、拒否シタ事實ガ澤山アッタレバコソ、八千圓ノモノガ二千圓ニ減ッタノデアル、ソレヲシモ丹羽サンハ、ソナナコトハ別段聽イテ居ラヌ、斯ウ云フヤウニ申スノデアリマス、斯様ナコトガ完全ニ解消セラレマセヌト云フト、是ハ結局今度ノヤウナ方針デ行カレテモ、亦藥劑師側ハ以前ノヤウナ總脫退ヲシナケレバナラヌ時運ニ、遭遇シハシナイカト思ヒマスカラ、久山委員ノ質問ニ關聯シテ、此點ヲ御尋致シテ置キタイト思ヒマス

尙ホ斯ウ云フ酷イコトガアリマス、醫師會ガ處方箋ヲ發行スル保險醫ヲ壓迫シタル實例トシテ、大阪府藥劑師會々員大岡武重ノ大阪市港區八幡町ニ開設シタル診療所ノ醫師岡田逸郎、是ハ大阪醫大ノ助手デアリマスガ、被保險者ニ處方箋ヲ交付スルコトヲ例トシテ居リマシタ、始メ屢、所屬醫師會ニヨレバ何故處方箋ヲ發行スルカト云フ、詰問ヲ受ケケレドモ、意ニ介セズ繼續シテ居リマス、度々醫師會ノ者ガ來テ、兎ニ角イケナイカラ止メテ貰ヒタイトノ懇談ガアツタケレドモ、止ムベキ理由ナシトテ之ニ應ゼズ、依ッテ醫師會ニ於テハ岡田醫師ノ請求ニ係ル處方箋料ノ點數ヲ、削除スルニ至ッタ、然レドモ尙效果ナキヲ以テ、其言フコトヲ聽キマセヌデシタカラ、醫師會ハ遂ニ岡田醫師ノ學位請求ノ件ニ對シテ、壓迫ヲ加ヘルニ至リマシタノデ、大岡武重ハ岡田醫師ノ爲ニ氣ノ毒ニ思ッテ、診療所ノ閉鎖ヲシタト云フコトガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトハ所在ニアルヤウデアリマス、然ルニ社會局長官ガ、左様ナコトハ別段聽イデ居リマセヌ、斯ウ言ヒマス、八木委員ハ「左様ナコトガナカッタシテ又藥劑師側ノ諸君モ是ハ事實ニ於テ御了解下サレタコト」ト喜ンデ居リマスコトハ、事實ニ反シ

タ速記ノ殘ルコトヲ遺憾ニ思ヒマス、果シテサウ云フ事實ヲ政府ニ於テ御認メニナッテ居ルカドウカ、ハ、キリト御答ヲ願ヒタイ
○川西政府委員 藥劑師ガ健康保險ニ依ッテ、經濟的ノ打撃ヲ受ケテ居ル點、ソレニ對シテ社會局ハ何等考ヘテナイカ、斯ウ云フ御尋ニ對シマシテハ、丁度同ジ意味ノ御尋ガ、此委員會ニ於テ清水委員デアリマシタカラアリマシテ、社會局長官ガソレニ御答ニナリマシタノデ、私カラ改メテ御答ヘ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、只今武知委員ノ御舉ゲニナリマシタ事實ハ、正直ノ所私共未ダ會ッテサウ云フコトヲ耳ニシタコトガゴザイマセヌ

○武知委員 耳ニシタコトガナイト仰シヤイマスレバ、ソレ迄デゴザイマスガ、藥劑師會カラモ、屢、サウ云フコトハ政府ニ申出デ居リマス、殊ニ脱退シタ當時ニハ、サウ云フコトガ重大ナ理由トシテ、脱退ノ原因ニ舉ゲラレテ居ルノデアリマス、過去ノコトハ今更議論立テ致シマシテモ、是非モナイコトデゴザイマスガ、サウ云フ事實ガ嚴トシテ存シテ居ルト云フコトダケハ、御諒承願ヒタイ、ソレデ委員長、私後ニ質問シマスカラ、久山君ト代リマス

○久山委員 既ニ丹羽長官ノ答辯ガアルカ

ラ、重ネテ答辯シナイト云フ御意思ノヤウデアリマスガ、私更ニ一言申述ベテ見タイト思フノデアリマス、近年自動車ガ非常ニ輸入サレマシタ、自動車ノ輸入ガ殖エルト同時ニ、多數居リマシタ人力車夫ガ、段々他ニ轉業シテ行ツタ、此事實ヲ私共面アタリ見マシテ、文明ノ普及ニ依ッテ、人力車ガ影ヲ沒シタト云フ此事實ニ對シマシテハ、固ヨリ何等ノ意見ヲ有テ居ル譯デハアリマセヌガ、併シ此健康保險法案ガ、政府ニ依ッテ立案サレ、政府ニ依ッテ實施サレ、更ニ又今回之ヲ擴張サレマシテ、擴張サレ、バサレル程、一方ニ於テ非常ニ不利ナ立場ニ立ツ人ガアルト致シマスルト、自動車ガ輸入サレタカラ、人力車夫ガ職ヲ失ツタト云フ程簡單ニ之ヲ片付ケルコトハ、出來ナイ問題デハナイカト思ヒマス、前ニモ申上ゲタヤウニ、衛生局ガ主體トシテ御ヤリニナルノデアレバ、或ハ其邊ノ御考慮ガ足りナカッタカモ知レマセヌガ、苟モサウ云フ方面ノ仕事ヲ、專門ニ爲サル社會局ニ於テ、之ヲ御立案ニナルノデアアルカラ、私ハ此點ヲ御伺申上ゲタノデアリマス、併シ丹羽長官ガ今日ハ御缺席デアリマスカラ、私ハ此點ハ質問ヲ留保致シマシテ、更ニ後ノ機會ニ重ネテ御伺致シタイト思ヒマスガ、斯ウ云フ差別的ノ

待遇ガ、法律ニ依ッテハッキリ行ハレテ參リマスルト、ソコニ非常ナ個人經濟ノ上ニ、優劣ガ生ジテ參ルノデアリマス、私ハ他ニ同僚諸君多數ノ質問ヲ、御控ヘニナッテ居ル場合デアアルカラ、是レ以上多クハ申上ゲマセヌガ、要スルニ此健康保險法ナルモノニハ、非常ナ缺陷ガアル、缺陷ガアルカラ、其缺陷ヲ先ヅ改善シテ行ク必要ヲ痛感スル、其改善ノ曉ニ於テ、更ニ擴張サレルコトガ、寧ロ當然デハナイカト云フ見解ヲ有ッテ居リマスカラ、此一言ヲ殘シマシテ、一先ヅ私ノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○世耕委員 私ハ此際衛生局長ニ御尋シタイ數件ガアルノデアリマス、最初中央衛生會ノ問題ニ付テ、世間デ可ナリ色々ナ難ガ起ッテ居ルコトヲ、吾々ハ聽クノデアリマスガ、此衛生會ノ組織竝ニ内容、及現在弊害ノ有無ト云フコトニ付テ、衛生局長ノ御答辯ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○大島政府委員 中央衛生會ノ目的ト申シマスカ、使命ト申シマスカ、ソレハ中央衛生會官制ニ明ニサレテ居ル事柄デアリマシテ、中央衛生會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シマシテ、公衆衛生、獸畜衛生ニ關スル事項ニ付テ、各省大臣ノ諮詢ニ應ジ、意見ヲ開申スルト云フコトニナッテ居リマス、其組織

ハ關係各廳ノ高等官、及ビ學識經驗ノアル者ノ中カラ、之ヲ命ズルト云フコトニナッテ居リマス

○世耕委員 私ノ言葉ガ足りナカッタノカモ知レマセヌガ、私ノ組織内容ト云フコトハ、如何ナル階級ノ人ガ入ッテ居ルカト云フコトガ主デアリマス、勿論各省ノ次官、局長ガ入ッテ居ルト云フコトハ承知致シテ居リマスガ、其外ニ醫科、齒科、藥劑師ニ關係ノ人ガ、ドウ云フ割合デ此委員會ニ參加シテ居ルカト云フコトヲ、御尋シタイノデアリマス、尙ホモウ一ツ御答ヘ願ヒタイコトハ、中央衛生會ニ付テ色々ナ世評ガ立ッテ居リマスカラ、其點ニ對シテ果シテ弊害ガアルノカ無イノカ、若シアルトスレバソレニ對スル改革ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○大島政府委員 委員會ノ内容デアリマスガ、ソレハ關係各廳ノ高等官以外ニ於キマシテ、醫學出身者、藥學出身者及ビ獸醫學出身者、齒科醫學出身者ト云フ風ニナッテ居リマシテ、其割合ハ醫學出身者ガ九人デアリマス、藥學出身者ガ六人、獸醫學出身者二人、齒科醫學出身者二人ト云フ譯デアリマシテ、私共ト致シマシテハ、此割合ハ至極適當ナモノデアルト云フ風ニ考ヘ

テ居リマス、尙ホ中央衛生會ニ付テ、現在何カ弊害ノ點等ガアリハセヌカト云フ話デアリマシタガ、サウ云フコトハ當局トシテ認メテ居ラスノデアリマス

○世耕委員 只今御答ニナッタ職別ノ委員ノコトハ、諒解サレタノデアリマスガ、何故ニ此藥劑師關係ノ方ヲ御加入ニナラナイノデスカ

○大島政府委員 藥劑師關係者ハ六人居リマス

○世耕委員 六人ト云フノハ藥學關係デアッテ、藥劑師トシテノ代表デナイト認メマス、此點ニ付テ御見解ガ違フノデハナイカト思ヒマスガ、一應御尋シテ置キマス

○大島政府委員 御尋ノ點ガ能ク分リマセヌデシタガ、藥劑師會關係ト云フノデアリマス

○世耕委員 サウデス

○大島政府委員 此中央衛生會デアリマスガ、是ハ其委員ニ或會ノ代表者ヲ選ブト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、學識經驗アル者ノ中カラ、之ヲ選ブト云フ趣旨デアアルノデアリマス、偶、學識經驗者ガ、同時ニ或會ノ關係者デアル時モアリマセウシ、サウデナイ場合モアルト思ヒマス、私共トシマシテハ醫學、藥學、獸醫學、齒科醫學各

方面ノ學識經驗ヲ十分有ッテ居リマスル者デアリマスレバ、之ヲ適當ニ任命致シマスレバ、ソレデ十分此會ノ目的ニ副フコトデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○世耕委員 一應御説明ハ御尤ト思ヒマスガ、私ノ調査致シマシタ所ニ依リマスルト、北島多一君ハ日本醫師會ノ會長デアッタト思ヒマス、又血脇守之助ト云フ人ハ、齒科方面ヲ代表シタル人、私ハ斯ク信ジテ居ル者デアリマス、斯ウ云フヤウナ譯合カラ見マシテモ、亦中央衛生會ガ日本ノ衛生方面ノ一般カラ委員ヲ選ブ、又日本ノ醫科、衛生ノ發展ノ爲ノ、一ツノ諮問機關デアルト云フ御説明ノ趣旨カラ見マシテモ、此際藥劑師會ノ會長或ハ會長ニ準ズベキ人ヲ加入スルコトガ却ッテ公平デナイカ、斯ク信ズル者デアリマス、只今ノ御話ニ依ルト學識經驗ニ富ンダ人、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私ハ藥劑師ノ仲間ニ於テ學識、識見ニ富ンダ人ガナイトハ斷ジタクナイノデアリマス、若シサウデナイトスルナラバ、此際醫師、藥劑師ノ軋轢ト言ヘバ語弊ガアルカ知ラヌガ、双方ノ間ニ色々問題ヲ惹起スル今日ニ於テ、ソレヲ緩和スルト云フ意味ニ於テ、又衛生方面カラ見テ、藥劑師ト醫師ト云フモノハ、離ルベカラザル關係ニアル

今日ノ場合ニ於テ、其會ノ代表者ヲ選ブト云フコトハ、私ハ妥當デヤナイカ、斯ク信ズルノデアリマス、此點ニ付テ尙ホ念ノ爲メ一應御尋シテ置キマス

○大島政府委員 先刻御答申シマシタ通り、私共ト致シマシテハ、學識經驗者トシテ此委員ハ其職ニ就クベキ者デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、其委員ガ偶、或ル會ノ代表者デアアル、或ハ代表者ニ準ズベキ者デアルト云フヤウナコトガアリマセウシ、或ハ然ラザル場合モアルト考ヘルノデアリマスルガ、中央衛生會ナルモノハ、サウ云フ色々ノ衛生ニ關係致シマス各種ノ團體ノ意見ヲ、ソコニ代表スルト云フノガ趣意デハナイノデアリマシテ、全ク學識經驗ト云フコトニ基イテ、其任ニ就イテ居ル者デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、特ニ或會ノ代表者ヲト云フ意味デ、之ヲ任命スルト云フ考ガアルカドウカト云フコトニ付テハ、甚ダ遺憾ナガラ、サウ云フ考ヲ有ッテ居ラヌト云フコトヲ、申上ゲルヨリ外致シ方ガナイノデアリマス

○世耕委員 御説ノ中ニ學識經驗ト云フ御話ガアッタノデアリマスガ、學識ノミヲ標準トシテ、委員會ヲ組織スルト云フコトニナレバ、只今ノ御説ハ承服出來ヌノデアリマ

ス、學識並ニ經驗ニ富シト云フコトニナ

レバ、藥劑師ハ當然藥劑師ノ業トシテ、十

分經驗ニ富シテ居ルト云フコトハ、茲ニ論

斷出來ルノデアリマス、而モ其實際經驗ニ

富シテ居ル者ヲ集リデアリ、其代表者デア

ルキ會長、或ハ其關係者ヲ此中ニ加ヘルト云

フ意思ガナイト云フコトハ、甚ダ以テ政府

當局ノ衛生會ニ對スル認識ヲ、吾々ハ解釋

出來ナイノデアリマス、併シ御答ヘ難イ筋

合ガアルヤウニ私ハ考ヘマスカラ、是以上

御尋スルコトヲ、今日ハ差控ヘテ置キマス、

更ニ進ンデ御尋シテ置キタイコトハ、衛生

局醫務課ノ專任技師ガ、醫者ノ方ト藥劑師

ノ出身ノ方ト、ドウ云フ風ナ振合デ居リマ

スカ、之ヲ聽キタイ

○守屋委員長 世耕君、是ハ餘リ健康保險

ノ法律案ト關係ガナイヤウデスガ……

○世耕委員 關係ガアル、斯ウ云フヤウナ

コトカラ、先程久山君ナドガ……

○守屋委員長 直接關係ノアル方ノ質問ヲ

ヤツテ、時間ガ餘ッタヤツテ戴ク、サウシタ

ナラバドウデセウ、少シ縁ガ遠イヤウデス

ガ……

○世耕委員 私ハ關聯アルモノトシテ質問

シマス

○守屋委員長 委員長トシテハ、モウ少シ

本筋ノ質問ヲヤツテカラ、ヤツテ戴イタ方ガ

宜イト思ヒマスカラ、成ルベク簡單ニ……

○世耕委員 此間醫藥分業ノ問題ガ可ナリ

問題ニナツテ居ッタデアリマス、其問題ニ

順序ヲ追ッテ入ル、私ハ其前提トシテ、御聽

キシテ居ル、私ハ之ニ關係ガナイナラバ申

上ゲマセヌ

○守屋委員長 今ノ所デハドウモ關係ガナ

イヤウニ思ハレルノデアリマスカラ、チヨッ

ト御注意シタノデアリマス

○世耕委員 政府ノ方デ私ノ質問ニ對シテ

御用意ガナケレバ、後ニ廻シテモ宜シウゴ

ザイマス

○大島政府委員 衛生局ノ醫務課ニ居リマ

ス醫師ト藥劑師ノ割合デゴザイマスカ――

ソレハ醫師ノ方ノ技師ガ一名、囑託ガ一名、

藥劑師デアアル技師ガ二名、技師ガ二名、囑

託ガ二名、斯ウ云フ數ニナツテ居リマス

○世耕委員 御注意ガアリマシタカラ、簡

單ニ致シマシテ、後デ適當ノ機會ヲ求メル

コトニ致シマス、先程衛生會ノ組織、竝ニ

現在ニ於テノ弊害ノ有無ト云フコトヲ御尋

シタ所ガ、アリマセヌト云フ御返答デアッ

ガ、昭和八年九月二十二日ノ東京朝日新聞

ノ論說欄ニ依リマス、其弊害ヲ如實ニ現

ハシテ居ル一ツノ論文ガ出サレテ居ルノデ

アリマス、ソレニ依リマス云フト、内務

省ガ醫師法施行規則中ニ一條項ヲ設ケテ、

患者カラ要求ノアル時ハ、醫師ハ藥劑ノ交

付ニ代ヘテ處方箋ノ交付ヲセネバナラヌト

ノ規定ヲ作ラントスルニ對シ、醫師側ガ強

硬ニ反對スルノミデ中央衛生會ノ特別委員

會デ、審議ガ停頓シテ居ルノハ、醫師側ノ

我マ、勝手ガ少シ強過ギルトノ感ヲ人ニ與

ヘル、醫師側ノ反對理由ハ云々」長クナリ

マスカラ途中ヲ省略シマスガ、併シ絶對

的ニ、何時マデモ醫藥兼業ヲ固執スルノハ、

藥劑師ノ利害問題ヨリモ、寧ロ患者側ノ利

益保護カラ、許サルベキデハナイ、醫師ノ

處方箋ニ公開ノ機會ガ與ヘラレズ、假ニ過

誤ガアツテモ、自家ノ藥室内ニ暗カラ暗ニ葬

ラレル事ノ危險ニ對シテ、之ニ氣ヲ病ム患

者ガ醫藥分業ヲ要求スル場合、何ノ權威ヲ

以テ醫師ガ之ヲ拒ミ得ルカ、此程度ノ制限

ヲシモ、營業者ノ利害カラ承認シ得ズトス

ルナラバ、何處ニ醫ガ仁術デアアル實ガアル

ノカ、何分問題ハ人ノ生死ニ係ル、藥品ニ於

ケル極量、配合禁忌ノ微妙重大ナ諸點ニ關

シ、醫師ノ處方箋ニ對シ、藥劑師ノ新シイ

眼ヲ通シテ、萬一ノ過誤ヲ防ガセル上カラ

ダケデモ、醫藥分業ハ、少クトモ之ヲ欲ス

ル患者ニ對シテ其途ヲ開クノガ、人道上當

然ノ理デハナイカ」ト云フコトガ記載サレ

テアルノデアリマス、是ハ先程チヨットドナ

タカラカ申サレマシタヤウニ、昨年九月内

務省ハ、我國ノ醫藥制度ノ現社會ニ適合ス

ベキ制度ヲ確立センガ爲ニ、醫師法施行規

則中改正法律案竝ニ診療所取締規則案等ヲ、

中央衛生會ニ諮問シタル事項中「醫師ハ患

者ヨリ藥劑ノ交付ニ代ヘ處方箋ノ交付ノ求

メアル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ

拒ムコトヲ得ス」ト云フ條文ガアツタ、是ハ

醫師ガ診察シ處方箋ヲ交付シ、其藥劑ノ授

與ヲ、藥學專門家デアアル藥劑師ニ調劑授與

セシムル制度ハ、世界各國總テノ國ガ行ッテ

居ルコトダト云フノデアリマス、是ハ他ノ

記事ニモ見出スコトガ出來ルノデアリマ

ス、之ニ對シテモ醫師會ノ橫車ノ爲ニ立消

エトナツタ、モウ一ツハ大正十四年政府ガ我

國ノ藥品ニ對スル制度、即チ藥品法ヲ制定

セントスルニ當リ、其條文中第十條ニ於テ

「毒藥、劇藥ニ非サル藥品ハ藥劑師タル藥品

營業者ニ限リ相手方ノ指示スル藥品ノ種

類、分量ニ從ヒ調合シテ之ヲ販賣又ハ授與

スルコトヲ得」ト云フ、是モ内務省トシテ

時代ノ要求トシ、種々ナル點カラ當然改正

ヲシヨウト云フ趣旨ニ基イテヤッタコトモ

色々ナル理由ヲクツ、ケテ立消エニシテ、

今日尙ホ其趣旨ガ實現スルニ至ラナイト云フコトモ、茲ニ明ニ證據立テ、來テ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトハ私ハ藥劑師ニモ醫師ニモ關係ガナイ一國民トシテノ立場上カラ、甚ダ不合理デヤナイカト思フ、寧ロ國民一般ノ保健上カラ見マシテ、斯ノ如キ弊害ハ敢然トシテ之ヲ除去シナケレバナラヌノデヤナイカ、斯ウ云フ建前カラ實ハ質問ヲ進メタイト思フノデゴザイマスガ、

尙ホ此點ニ付テ内務省ニ藥務課設置ノ問題モ、同時ニ私ハ此際數字ヲ舉ゲテ、論及シタイト思フノデアリマスガ、委員長ノ御注意ガアリマスカラ、私ハ後ニ適當ナル機會ヲ得テ更ニ御説明ヲ得タイト思フノデアリマス、例ヘバ内務省ノ規定ヲ見マシテ、今日此醫務課ノ内容ヲ檢討シテ見マシテモ、其仕事ノ八割ト云フモノハ殆ド藥劑ニ關シタ問題バカリデアリマス、又之ヲ製藥ノ方面カラ見マシテ色々ナル方面カラ見マシテモ、今日藥務課ノ設置ト云フコトハモウ當然ノコトデアラウト私ハ思フ、國家産業ノ上カラ見レバ實藥ガ一億圓カラノ額ニ上ッテ居ル、民衆衛生ノ建前、農事藥品ノ關係カラ、毒瓦斯其他ノ所謂國防上ノ化學兵器ノ建前カラ見テモ、今日時代ノ要求トシテ内務省ニ藥務課ノ設置ト云フコトハ、當然

過ギル程當然ダト思フノデアリマス、之ニ付テハ數字其他ニ付テ、モウ少シ例ヲ舉ゲテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスルガ、他日ニ讓ッテ私ノ質問ハ是デ中止致シマス

御願致シタイ、尙ホ御同致シタイノハ、今ノ病院ニ於キマシテハ、醫者三名以上ノ場合ニ藥劑師ヲ置クトノ規定ニナッテ居リマス、所ガ實際ヲ見マスルト、私共ハ病院ヨリモ一人、二人ノ御醫者ノ居ル醫院ノ方ガ必要デハナイカト思フノデアリマス、ソレハ病院ハ相當設備ガアリマス、所ガ普通ノ御醫者ニ參リマスルト云フト、御醫者ハ診察ガ忙ガシイ、其場合ニ藥ヲ盛ルノヲ見テ居ルト云フト、大概女中カ看護婦ト云フヤウナ場合ガ多イノデアリマス、殊ニ診察ヲ受ケナイデ藥ダケ貰ヒニ行ク場合ニハ、大概女中カ看護婦ガ藥ヲ盛ッテ居ルノデアリマス、何等藥劑ノ知識ノナキ者ガ、調劑ヲスルト云フトハ、人命上非常ニ危險デアリマス、デスカラ私ハ寧ロ病院ニ置クヨリハ普通ノ醫院ニ置ク方ガ必要デハナイカ、若シ一戸々々デ置クコトガ困難ナラ、或ハ二人ノ醫者、三人ノ醫者ガ共同シテ、共同藥局ヲ設ケルヤウニスルコトガ必要デハナイカト思ヒマス、是等ニ付キマシテ何カサウ云フコトニ付テ、醫師法改正其他ノ場合ニ當ッテ、政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、又今後サウ云フモノニ對シテ、ドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、御同ヲ致シタイ

過ギル程當然ダト思フノデアリマス、之ニ付テハ數字其他ニ付テ、モウ少シ例ヲ舉ゲテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスルガ、他日ニ讓ッテ私ノ質問ハ是デ中止致シマス

○守屋委員長、此際健康保險法ノ改正案ニ付テ、衛生局長ニ質問ガゴザイマスルナラ、ソレヲヤッテ戴キタイ

○清水委員 衛生局長ガ丁度居ラレマスカラ、此場合二三御同致シタイト思ヒマス、最初御同致シタイノハ、今日ノ藥價ト云フモノハ、醫師側ト藥劑師側ト、各々其定價ガ違ッテ居ルノデアリマス、同ジ醫者ノ中ニ於キマシテモ、東京府ノ醫者ト或ハ埼玉縣ノ醫者、縣々ニ於テ藥價ノ制定ガ違ッテ居リマス、是ハドウモ非常ナ不都合ヲ生ジハシナイカ、特殊ノモノニ付キマシテ、藥價ノ違フコトハ據ロアリマセヌ、併シ普通決リキッタモノニ付テハ、全國ヲ統一スルコトガ必要デハナイカ、ソレニ付テ衛生局ト致シマシテ、藥價令ト云フモノヲ立案スル所ノ御考ガアリマスルカ、又現在ソレニ付テ立案中デアリマスルカ、此藥價令ノ制定ニ付テノ御意見ヲ承リタイトデアリマス

○大島政府委員 藥價令ニ付テノ御質問デアリマスガ、御承知ノ通り獨逸ニ於キマシテハ、只今藥價令ト云フモノヲ國定メテ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

居リマス、此問題ニ付キマシテハ、衛生局ト致シマシテモ、現在慎重ニ調査研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、事ハ甚ダ重要ナコトデアリマスノデ、十分研究調査致シマシタ上デ、之ヲ制定スルカドウカト云フコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○清水委員 藥價令ニ付キマシテ例ヘテ見レバ、日本醫師會ナリ、日本藥劑師會ナリ——日本醫師會邊リノ藥價令ガ、ヤハリ各府縣色々違ッテ居リマスガ、少クトモ日本醫師會ナラ日本醫師會ニ命令致シマシテ、統一セルモノヲ其會カラ造ラセルコトガ必要デハナイカ、ドウモ縣々ニ依ッテ違フト云フコトハ、非常ニ不便ダト思ヒマス、之ニ付テ何カ日本醫師會ニ、交渉致シタヤウナコトガアルカドウカ、御同致シタイ

○大島政府委員 藥價ニ關シテ出來ルダケ全國的ニ、之ヲ統一スルヤウニト云フコトヲ、日本醫師會ニ政府ノ方カラ申シタコトハゴザイマセヌ

○清水委員 私共ハ少クトモ政府ガ早く藥價令ヲ制定致シマシテ、全國統一ノ方法ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス、今承リマスルト、目下研究中デアルト云フノデアリマスカラ、其研究ヲ出來ルダケ早メテ、一日モ早く議會ニ提案セラレルヤウニ

○大島政府委員 醫師法改正ニ基キマス、

診療所取締規則制定ノ場合ニ、新ニ病院ニハ藥劑師ヲ置カナケレバナラスト云フ規定ヲ、此度初メテ置イタ譯デアリマス、ソレ

デ病院以外ニアリマシテモ、醫者ガ三人以上居リマスル診療所ニ於キマシテハ、ヤハリ藥劑師ヲ置カナケレバナラスト云フ風ニシタノデアリマスガ、ソレハ病院ニ於キマシテハ、ドウシテモ醫師ガ専心診察治療ト云フコトニ當ルノデアリマシテ、中々藥劑ノ調劑ト云フコトニ手ガ廻リ兼ねルト云フ

實情ニ鑑ミ、又醫師ガ三人以上居リマスルヤウナ診療所ニ於キマシテハ、勢ヒ其醫師ガソレノ専門ヲ分擔致シマシテ、専ラ診療ニ從事スルト云フヤウナ實情ニ鑑ミマシテ、藥劑師ヲ置カナケレバナラスト云フ風ニ致シタノデアリマス、ソレ以外ノ診療所ニ於キマシテハ、今直チニ法ヲ以テ藥劑師ヲ置カナケレバナラスト云フコトヲ、強制致シマスルコトハ、マダ時期ガ早イト云フ

○清水委員 先程私ノ質問ノ中ニ申シマシ

タガ、大分普通ノ醫院ニ於テ、女中ヤ看護婦ガ調劑ヲスル、是ハ政府ニ於テモ相當御認ドラウト思ヒマス、之ニ付テハ監督ヲ嚴重ニスルト云フコトヲ、常ニ言ハレマス

ガ、事實ニ於テ中々其監督ガ行届クモノデ

ハアリマセヌ、若シ假リニサウ云フ風デアッタ場合ニ、何カ罰則ノ規定ガゴザイマスカドウカ、ソレヲ御伺致シタイ

○大島政府委員 看護婦ガ調劑ヲスルト云

フヤウナコトハ、全然禁ジラレテ居ルコトデアリマシテ、之ニ付キマシテハ、今後十分其監督ヲ嚴重ニシテ行ク積リデアリマス、唯醫師ノ監督ノ下ニ、其指揮ヲ受ケテ、全ク其手足トナッテ看護婦ガ調劑ノ仕事ヲ助ケルト云フ場合ハ、是ハ宜シイカト考ヘテ居リマス

○清水委員 只今ノ私ノ質問ハ、若シ女中

ナリ、看護婦ナリガ助手シテヤルニ非ズシテ、主人公ガ殆ド診察ニ掛ッテ居ル、或ハ外出ラシテ居ルト云フ場合ニ、藥ダケ盛ル例ガ多いノデアリマス、之ニ付テ何カ罰則ノ規定ガアルカ、ナイカト云フコトヲ御尋シテ居ルノデアリマス

○大島政府委員 其場合ハ藥劑師法ニ、藥

劑師ニ非ズシテ調劑致シマシタ者ニ對スル罰則ガアリマス、ソレニ依ッテ律シテ行クコトニナッテ居リマス

○清水委員 藥劑師法ニ依ッテノ罰則ヲ、利

用スルト云フ御話デアリマスガ、サウ云フ風ナ罰則ニ依ッテ、檢舉シタ實例ガアリマス

カドウカ、伺ヒタイ

○大島政府委員 只今ノ問題ハ調査致シタ

コトガゴザイマセヌノデ、數字等ハ持合セテ居リマセヌ

○清水委員 是ハ人命ニ關スル重大問題デ

スカラ、十分調査シテ、サウシテ監督ヲ嚴重ニシテ、其誤ナカラシコトヲ御願致シマス、序ニ今一項御伺致シタイノハ、先日私ガ衛生局ノ政府委員ニ御伺シタ時ニ、白松書記官ノ御答ニ依リマス——是ハ處方箋料ノ問題デアリマシテ、私共ハ處方箋料ヲ取ルト云フコトハ不都合デアル、是ハ診察料ノ中ニ含ムベキモノデアルト言ッタ時ニ

白松書記官ハ、外國ニ於テハ處方箋料ハ診察料ノ中ニ含マレテ居ル、日本デハ長年ノ習慣ニ依ッテ行ハレテ居ルト云フコトデアリマスガ、此長年ノ習慣以外ニ、何カ處方箋料ヲ取ラナケレバナラスト云フ、根本ノ理由ガアリマスカドウカ、此習慣以外ノ理由ヲ承リタイ、更ニ今一項承リタイノハ、白松君ガ處方箋料ハ成ベク低クスルト云フコトニ付テ、醫師會ノ方ニ然ルベク話スル意思ガアリマス云フ答辯ヲサレテ居リマス、詰リ處方箋料ヲ取ルト致シマスレバ、處方箋料ハ低額ノモノデ宜イ、然ラバ其低額ト云フモノ、根本ハ何錢位カ、ムヅ

カシイモノハ別ト致シマシテ、普通ノ處方

箋料トシテハ、紙代ト手數料ヲ含ンデ二三十錢或ハ最高五十錢位デアリマセウガ、ソレ位ガ適當デアルカ、或ハドレ位ノ額ガ處方箋料トシテ適當デアルカ、政府ノ見解ヲ承リタイ

○大島政府委員 處方箋料ノ問題デアリマ

スガ、ソレハ白松書記官カラ御答致シマシタヤウニ長年ノ習慣ト申シマスガ、或ハ現在ノ社會ノ實情ニモ依ルカト思フノデアリマスガ、處方箋料ノ中ニ診察料ガ含マレテ居ル場合ガ、随分多イノデアリマス、唯處方箋料ヲ幾ラ位ノモノニ致スコトガ、合理的デアルカト云フ問題ニ付キマシテハ、御承知

ノ如ク此診察ト申シマスルコトハ、患者ノ身分及ビ醫者ノ個人的ノ、色々ノ能力ト云フヤウナモノニ依リマシテ、一概ニ申スコトハ出來ナイノデアリマシテ、之ヲドレ位ガ適當デアルカト云フコトヲ、只今申上ゲルコトハ不可能デアルト云フコトニ考ヘテ居リマス

○清水委員 處方箋料ガドノ位ノ金額ガ適

當カト云フコトヲ、説明出來ヌト云フ御話デアリマスガ、私共ハ最高ノ處方箋料ヲ聞クノデハアリマセヌ、最低ドノ位カト云フ、最低ノ金額ニ付キマシテ、内務省デハ

無論御考ガアリマセウ、此間承リマスルト衛生局トシテ、何カ醫師法ノ施行規則ノ時ニ、他所ヘ話ヲシタト云フコトモ聽イテ居リマスガ、最低金額下ノ位カト云フ點ヲ御同致シタイ

○大島政府委員 處方箋料ノ最低ガドノ位ガ、當適デアルカト云フ御尋デアリマスルガ、現在各地ノ醫師會ノ規定ナドニ依リマスルト、一圓カラ一圓以上ト云フヤウナ規定ヲ設ケテ居ルノガ、中々多イヤウデアリマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ、具體的ノ場合ニ當リマシテ、其處方箋料ガ最低下レ位ガ適當カト云フ問題ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、醫師ノ能力、ソレカラ其時ノ疾病ノ色々治療上ノ難易ト云フヤウナ點ニ依リマシテ、一概ニ之ヲ申スコトハ出來ナイト思フデアリマスガ、唯私共ト致シマシテハ、處方箋料ハ成ベク之ヲ低廉ニスルヤウニ、醫師會ノ方ヘハ申ス積リデ居リマス

○清水委員 只今處方箋料ハ、一圓若クハ其以上ト云フコトガ適當ト云フ風ナ御話ガゴザイマシタガ、東京ノ實例ヲ見マスルト、例ヘテ見レバ下谷區トカ、芝區アタリノ醫師會ノ規定ヲ見ルト、二圓以上ニナッテ居ル、本郷區ハ二圓デアル、大概ハ二圓以

上ニナッテ居リマス、此二圓以上ト云フモノハ高イト御認メナリマセヌカ、ドウデスカ

○大島政府委員 一圓以上ト云フノハ適當デアルト云フ風ニ申シタノデハナイノデアリマシテ、地方ノ醫師會ノ規定ガ、多クサウ云フ風ニナッテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、然ラバ二圓以上ト云フノハ高イト思フカ、安イト思フカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ先程申上ゲマシタヤウナ、色々ナ點ヲ考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、尙ホ具體的ノ問題ニ打突ッテ考ヘナケレバナラスノデアリマスカラ、今直チニソレガ高イトカ、安イトカト云フコトヲ、此席デ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

○清水委員 大體是デ宜シウゴザイマス

○武知委員 只今局長ノ御答辯ニ依リマスルト、醫師ノ監督下ニアッテ手足トナッテ調劑スルモノデアレバ差支ナイト云フヤウナ御見解デアリマスガ、是ハドウモ重大ナ御答辯デアリマス、藥劑師ニアラザレバ調劑ヲ爲スコトヲ得ズト、日本ノ法律ハ嚴ニ規定シテアルノデアリマス、サウシテ之ニ對シテハ、當分ノ間カ何時マデノ間カ存ジマセヌガ、兎ニ角例外的經過規定トシテ、醫師ノ調劑ヲ認

メテ居ルニ過ギナイノデアリマシテ、其醫師ニ非ザル看護婦、女中、家族ガ、醫師ノ監督下ニ手足トナッテ調劑スルコトガ罪トナラザル行爲デアアルカドウカ、ハッキリト御答願ヒタイノデアリマス

○大島政府委員 先程申上ゲマシタノハ、或ハ言葉ガ十分デナクカッタ存ジマスガ、要スルニ醫師ノ手足トナリマシテ、全ク機械的ノ動作ヲ爲スト云フ意味デアリマシテ、所謂調劑ト云フ言葉ハ、或ハ不適當カト存ジマスガ、要スルニ醫師ノ指圖ノ儘ニ藥ヲ分ケマスルトカ、或ハ藥ヲ乳鉢ニ入レテ、之ヲ攪拌スルトカ云フヤウナコトヲ、醫師ノ監視ノ下ニ於テ、其手足トシテヤルト云フコトノ意味ニ申上ゲタ譯デアリマス

○武知委員 サウ致シマスルト、醫者ノ側ニ居ッテ調劑ヲスルト云フ意味デアリマスカ、一寸御同致シマス、醫師ノ所ヲ少シデモ離レテ、調劑シテハイカヌノデスカ、一寸御同シマス

○大島政府委員 具體的ノ問題ニ付テハ、其時ニ考ヘネバナラスカト思ヒマスガ、要スルニ全ク醫師ノ手足トナッテ、單ニ其側ニ居ルノミナラズ、其手足トナッテ全ク機械的ニ働ク、サウ云フ趣旨デアリマス

○武知委員 是ハ局長能ク御研究ヲ願ヒタ

イト思フ、理髮屋ガ師匠ノ側デ、斯ウツムノダア、ツムノダト教ヘテ貰ッテ「オ客様ノ頭ヲツムト違反ニナル、人ノ頭ヲ扱フ其程度デサヘモサウデアアルノニ、兎ニ角醫師ナラバ調劑ヲ許サレテ居リマスガ、矢張調劑行爲ニ違ヒナイ、醫師ニ非ザル者ハ假令醫師ノ手足デアラウガ、醫師ノ監督下デアラウガ、私ハ是ハ宜シカラザル行爲デアアルト思ヒマスガ、ソレ程嚴格ニ御認メナリマセヌデセウカ、ドウデアリマスカ

○大島政府委員 私ハ今御話ノ通り、非常ニ嚴格ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、全ク其監督ノ下ニ、全然其手足トナッテ働クト云フヤウナ場合ダケハ、許サレル行爲デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、所謂獨立シテ自分デ調劑スルト云フコトハ、是ハ全然イケナイ、全ク醫師ノ手足トナッテ、其指揮ノ下ニ、其監視ノ下ニヤルト云フ場合ノミ、許サルベキ行爲デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○武知委員 ドウモ其御話スラ、藥劑師法ノ本則カラ申シマスルト、私ハ出來ナイコトデヤナイカト思ヒマス、假令監督ガアラウガ、醫師ノ手足ニナラウガ、藥劑師ニ非ザレバ、調劑スルコトヲ得ズ、唯醫師ニ特ニ便宜ニ認メテ居ルノデアリマス、然ラバ藥劑師

ノ監督下ニ、藥屋ノ手代ガ調劑スルコトハ、差支ヘナイデアリマセウカ、藥劑師ノ家デ、藥劑師ノ監督下ニ於テ、其手足トナツテ調劑致ス場合ハ、是ハドウ解釋サレマスカ

○大島政府委員 ソレハ全ク同様ト考ヘマス

○武知委員 ソレデハ局長ノ見解ハ、藥劑師ノ家ノ手代ガヤルコトモ、差支ヘナイト御認ニナツテ居ルヤウデアリマスルガ、他日私ハ此問題ハ、必ズ相當深刻ニ研究セラレル問題デアルト思ヒマス、私ノ信念ヲ以テ致シマスレバ、斷ジテ藥劑師及ビ醫師以外ニハ調劑ハ出來ナイ、如何ナル便法、或ハドウ云フ理由ガアルニ致シマシテモ、是ハ出來ナイモノダト、斯ク解釋致シテ居ルノデアリマスガ、私ノ聽ク範圍内デハ、看護婦、女中、家族等ノ調劑ハ善良ナル風俗ト認メ、一種ノ慣習ト認メテ、サウシテ罪トナラザル行爲ノヤウニ解釋シテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、今ノ局長ノヤウニ、監督下ニ於テ調劑スルコトハ差支ヘナイト云フ意味デナクシテ、貰フ方ノ患者モ、出ス方ノ醫者側モ、サウ云フ者ニ調劑サスト云フコトガ數十年來ノ慣行デアアル、ソレ故ニ一種ノ善良ナル風俗トシテ、之ヲ處罰セナイヤウニ承ツテ居リマスガ、左様ニハ御考ニナラナ

イデセウカ

○大島政府委員 左様ニハ考ヘマセヌ

○武知委員 モウハッキリ致シマシタ、此上ハ見解ノ相違デアリマス、最後ニ極ク簡單ニ伺ヒタイノハ、白松内務書記官ノ説明員トシテ、此處デ御答辯ニナツタコトハ、局長ハ其答辯ヲ諒承セラレマスルカ——然ラバ承リタイト思ヒマスガ、白松醫務課長ノ御答辯ニ依リマス——其前ニチヨット申上ゲテ置キタイノハ、此委員會デ醫藥分業ノ問題ガ盛シニ論議サレテ居リマス、是ハドウ云フ譯デ論議サレルカト申シマス、他業ノコトハ率知ラズ、私共ハ健康保險ハ、政府ガ直接管掌ノ事項デアリマスカラ、セメテハ健康保險ニ於テノミデモ、分業制ノ採用ガ可能デアラウカト存ジマシテ、政府ノ趣意ノ在ル所ヲ、過日來色々承ツテ居リマス、サウ致シマスルト、社會局長官ナドハ、一般分業ト云フコト、離レテ、健康保險ダケガ醫藥分業ヲ致スト云フコトハ、中々ムヅカシイト云フ御答デアッタ、頗ル抽象的ナ御答デアリマスルノデ、二萬數千ノ藥劑師諸君ハ、此御答ニ依ッテ迷ッテ居リマス、中々ムヅカシイト云フコトハ、一般分業ガ決定サレナイ限り、健康保險ノミ醫藥

分業ト云フコトハ出來ナイト云フ意味デアルカ、或ハムヅカシイ事デアルガ、出來ルダケヤルト云フ程度ノモノデアアルカト云フコトガ、ハッキリ致シテ居リマセヌノデ、是ハ改メテ私大島サンカラ承リタイト思フノデアリマスガ、白松サンノ御答ノ中ニ、私共ノ考ヘテ居ル醫藥分業觀ト云フモノハ、患者本位ノ任意分業ト云フコトデ、此方針ハ當分繼續セラレルモノト考ヘテ居リマス、諸君醫師ト藥劑師トノ業務上ノ調和ト申シマス、日本ノ醫者ノ制度ハ外國ト異ッテ居リマシテ、投藥モ醫者ガヤルノガ原則デアル、サウ云フヤウノ現狀ニナツテ居リマス國ハ、外國ノ藥劑師制度ヲ輸入シテ、日本ノ藥劑師制度ト云フモノヲ認メタノデアリマスカラ、其處ニ實際問題トシテモ不調和ガアリ、無理ヲ生ズルト、ハッキリ御答ニナツテ居ル、私ハ此政府委員ノハッキリシタ御答ヲ得マシテ考ヘマスノニ、明治八年ニ醫制ガ發布サレテカラ、今日ニ移リ來ッタ所ノ藥劑師法ナル法律ノ制定ハ、ドンナ意味デ制定シタノカト云フコトニ付テ、迷ハザルヲ得ナイノデアリマス、少クとも醫藥其モノニ、一大變化ヲ來シタ結果、當然ノ必要トシテ、藥劑師制度ヲ設ケタモノデアアルコトハ、是ハドウモ疑ノナイ所デアリマス、所ガ藥劑

師法立法ノ精神ハ、明ニ一種ノ輸入的ノモノデハナイヤウデアリマス、サウシテ立法的精神ハ、醫藥ト藥トヲ分離致シテ居リマス、然ルニ只今ノヤウナ明確ナル御答辯デゴザイマスノデスガ、ソコデ私ハ何故藥劑師ト云フ者ヲ養成シテ居ルカ、之ヲ承リタイ、ソレカラ長イ間ノ醫藥兼業ハ、慣習デアッタカモ知レマセヌガ、ソレヲ法律デ禁止シテ、サウシテ本則ニ於テハ、分業ニシナケレバナラスト云フ御方針ヲ示シタノハ何故デアルカ、又今日ニ於テ色々應用サレテ居リマスル藥品ガ、矢張醫藥兼業デモ宜イ位ナモノデアアルカドウカ、此三點ヲ承ッテ見タイノデアリマス

○大島政府委員 只今御質問ノ第一ノ點ニ付キマシテ、御答致シマスレバ、政府ガ藥劑師ト云フ制度ヲ設ケマシタ趣意ハ、藥劑師法第一條ニ明記シテアリマスル如ク、主トシテ調劑ノ中心ノ機關トシテ、之ヲ認メタ譯デアリマス、尙ホ其他ノ點ニ付キマシテハ、甚ダ失禮デゴザイマスルガ、一ツモウ一遍……

○武知委員 長イ間醫師ハ投藥モヤルノガ原則ダト云フ、白松サンノ御答デアリマス、此御答辯ハ是認スルトシテモ、ソレ程ノ原則ヲ破ッテ醫藥兼業ヲ禁止シテ、醫藥ヲ分業

セシメナケレバナラスト云フコトヲ、法律マス

○武知委員 私ノ質問ハ終了致シマシタ

○守屋委員長 本日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマス

午後三時五十分散會

劑サセテモ、構ハヌト云フヤウナ、穩カナ藥デゴザイマセウカ、是ハドウシテモ分業的ニ、藥品調劑ノ學ヲ修メタ藥劑師ニ調劑セシメテ、醫ト藥ト全然分離シテシマハナケレバナラヌ程、今日ノ良藥ト申シマスカ、藥ハ餘程進歩シテ居ルト思ヒマスガ、之ヲ政府ハ御認ニナリマスカ、此二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大島政府委員 白松書記官カラ御答致シタ、醫者ガ自分ノ診察スル患者ニ對シテ、投藥スルコトガ原則デアルト云フコトヲ申シタノハ、ソレハ我國ノ現在ノ社會狀態及ビ患者ノ便否カラ申シマシテ、サウ云フ原則ガ現在行ハレテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレカラ長年ノ、詰リ醫藥ノ兼業ト申シマスカ、ソレヲ藥劑師法ノ制定ニ依ッテ、之ヲ分業ニシタト云フコトヲ今仰セラレタノデアリマスカ、併ナガラ是ハ醫師ガ自己ノ診療スル患者ニ、投藥スルト云フ關係ニ於キマシテハ、其分業ヲ、其點ニ於テ全然認メテ居ルト云フ譯デハナイト云フコトハ、御承知ノ通りデアラウト思ヒ